

# 楽器練習室

ピアノ練習室 / その他 楽器練習室 / 音楽教室



生活の中にいつも音楽を～

快適な音場の楽器練習室を実現します

# 日本音響エンジニアリングだからこそ ご提案できる理想の楽器練習室があります

理想の楽器練習室とは、他人に気兼ねせず存分に演奏ができ、居心地もよく耳心地もよい部屋だと考えています。とはいえ、建物には木造の一戸建てからマンションまで様々な種類があり、またお客様のニーズも様々です。

私たちは建築音響専門会社として50年以上に亘る業界一の経歴を持ち、これまでにレコーディングスタジオからプライベートスタジオ、テレビ局やラジオ局、大手メーカーの音響実験室や個人邸の楽器練習室など、国内外の様々な用途の音響に関わる建築に携わり、設計・施工の実績を積んできました。複雑で専門性の高い建築音響の分野ではこの豊富な経験が最も重要なことです。そして、これらの経験で得たノウハウとアイデアを十分に活かしていくことで、お客様に信頼と安心を提供することが出来ます。

是非、皆様が大切な楽器を選ぶように 毎日お使いになる練習室も同様にお選びください。

## 防音のこと

他人に気兼ねせず思う存分演奏できる部屋であることが重要です

ご自宅で大きな音を出すことは、近隣に対して大きなリスクとなります。建物の構造や立地条件・使用時間帯などからリスクを最小化するために必要な目標値を設定することも私たち音響専門会社の重要な仕事です。そこでお客様とディスカッションをしながら使用条件を調整し、予算・仕様などの確な提案を行い、目標値をクリアする努力をしています。

楽器練習室の設計・施工は単なる防音工事に留まらない、お客様の立場・使う人の立場に立ったコンサルティングと捉えています。当社独自の高い品質基準と、施工に携わるスタッフ1人1人の音響工事に対する意識の高さがお客様に対し安心感をもたらし、満足してお使い頂けるお部屋を提供できるのです。

## 響きのこと

上達のために良い響きの部屋であることも大切な要素です

防音が満足できても、部屋の響きのクオリティがその部屋の良し悪しを決定するといっても過言ではありません。楽器演奏においては音を聴き分けられてこそ演奏も上達し、演奏者にとっては何より気持ちよく弾けることは重要なことです。本当の良い響きこそ楽器練習室には必要なのです。

私たちは部屋の響きを整える作業として、定評ある音響測定やシミュレーション技術だけでなく、それらをベースとし最終的な判断は自分たちの「耳」で行います。

この『耳での判断が出来る』ということこそが豊富な経験と実績から培われた技術なのです。

この様にして、演奏者の求める本当の音や好みの響きに整えます。

## for music lovers ~ 更なる理想を求めて

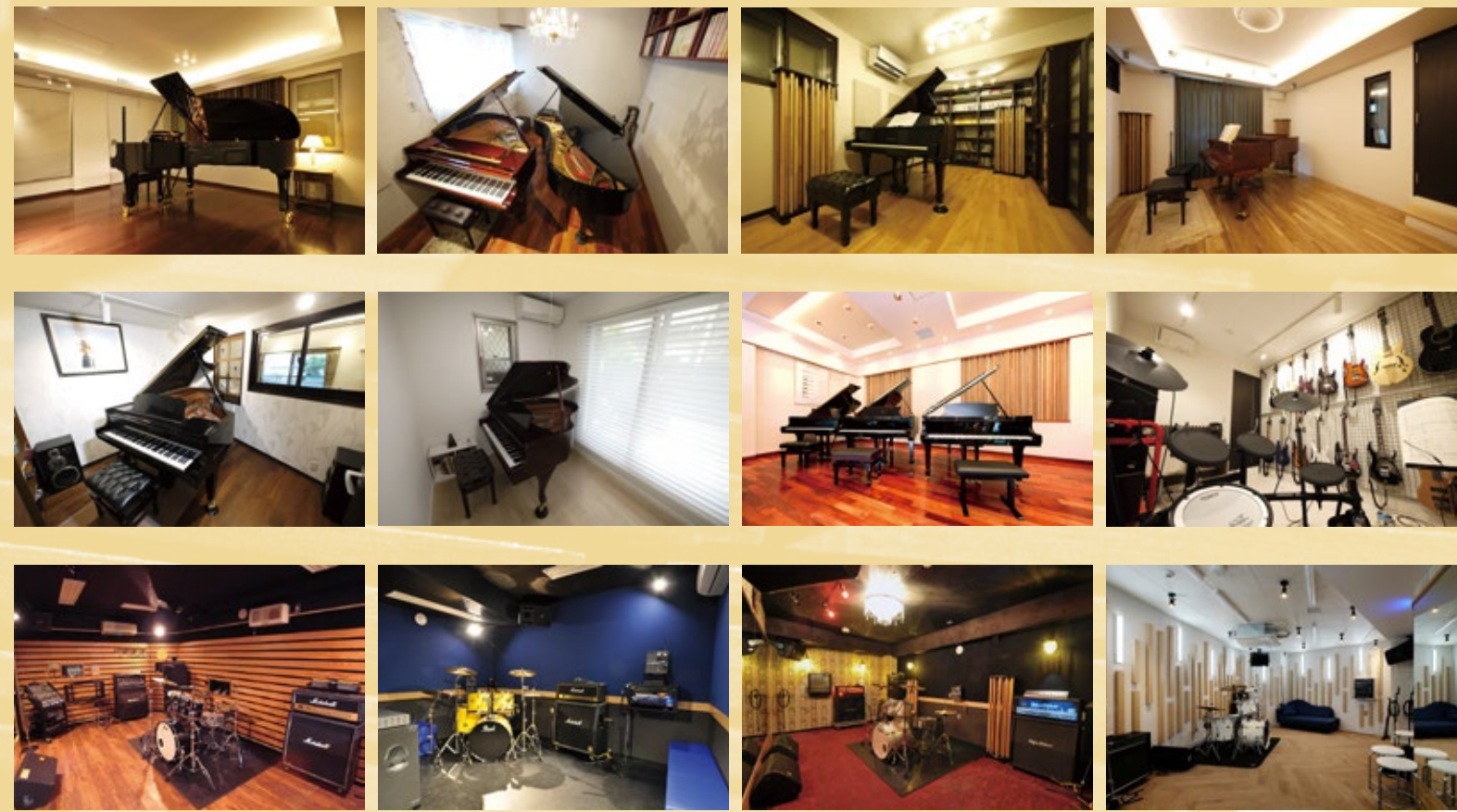
長く居ても疲れない音の良い空間... それが楽器練習室の理想です

響きの要素を決める手段として、従来の吸音・反射と壁面形状による拡散手法とは異なる“響きの質”に着目した新しい手法を取り入れました。

森の中では無数の木々が林立し、低域の自然な抜けと中高域の緻密な拡散がある理想的な音場であると考え、その森の音場を再現することに着想を得て『ルームチューニング機構 Acoustic Grove System (AGS)』が誕生しました。

これにより理想的で自然な音に包まれた空間を実現することが可能になりました。





**浮遮音構造**  
 浮床の上に構築することで完全浮構造となり、性能をフルに発揮します。

**天井・壁の内装**  
 吸音・反射・拡散を組み合わせ、より良い演奏空間 = 音場を実現するポイントです。

**防振浮床**  
 振動絶縁のための基本構造で、マストアイテムです。



**Acoustic Grove System (AGS)**  
 楽器練習室のクオリティが格段に向上します。音響効果と意匠の両面から最適な配置をご提案します。(オプション)

**【 楽器練習室 標準仕様 】**

|        |      | 床               | 壁                       | 天井        |
|--------|------|-----------------|-------------------------|-----------|
| スタンダード | 遮音構造 | 浮床 (PSブロック+積層床) | 浮遮音壁                    | 浮遮音天井     |
|        | 音響内装 | 無垢フローリング 15t    | ビニルクロス, 巾木<br>吸音パネル取付   | 岩綿吸音板 12t |
| ハイグレード | 遮音構造 | 浮床 (M5防振ゴム+CR板) | 浮遮音壁                    | 浮遮音天井     |
|        | 音響内装 | 無垢フローリング 15t    | リブ 塗装仕上, 巾木<br>吸音壁 (1面) | 岩綿吸音板 12t |

スタンダードとハイグレードの2バージョン設定をご用意しておりますが、これ以外にもご要望に添ったかたちでのプランが可能です。

## 【音の伝搬について】

楽器などを演奏して発生した音は、図のようにいろいろな経路から音が漏れていきます。その経路がひとつでも対策されていなければ、音は漏れてしまうことになります。

私たちが防音の検討を行う場合、下見や図面などからこの経路を入念に検討し、漏れない対策を行っていきます。

### ① 透過音

室内の発生音が隣戸や隣室に壁などを直接透過して漏れる音です。

→この場合の対策は、壁などの重量を増すことにより防音性能を上げることが出来ます。

### ② 振動音（固体伝搬音）

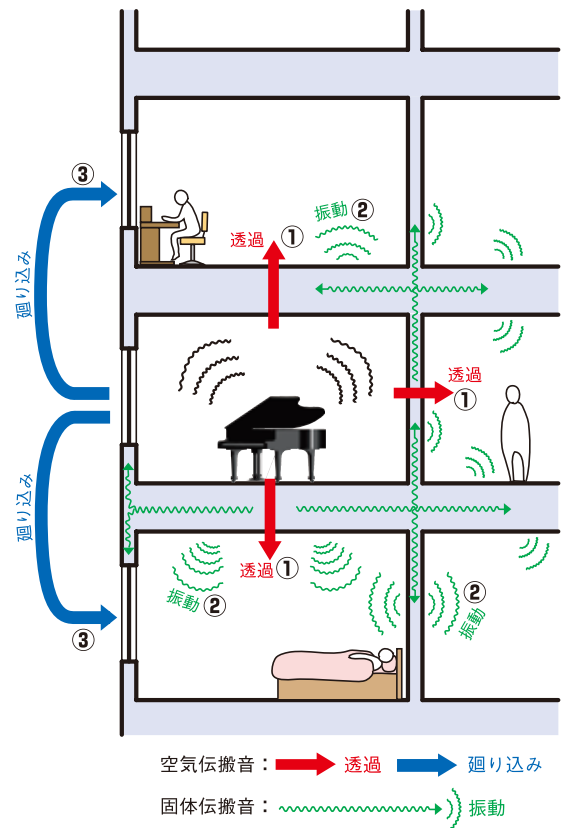
楽器などから発生した振動が床などに伝わり、糸電話のように建物の構造体を伝わって他の部屋の床・壁・天井を振動させて再放射し、音となります。

→この場合は完全浮構造にし、発生した振動を構造体に伝えない対策が必要となります。

### ③ 回り込み音

室内の発生音が窓や換気扇などから外部に漏れて、その音が再び隣戸に入る音です。

→対策は外部に漏れる音を減らすため、2重サッシにするなどの処置や、換気扇の穴を塞ぎ室内側での換気に変更したり、ダクトを延ばして音の伝搬経路を長くし、且つ消音装置を設置するなどの対策を取ります。



人間の耳はマイクより遥かに感度が高く、極めて小さな音でも聞き分けれます。

例えば一般的な住宅街で、夜間などの静かなときには、わずかに漏れた小さな音でも他人には必要以上に大きな音に感じられるものです。

防音の対策を検討する上では、近隣の建物との距離やその建物の構造、夜間などの交通騒音の有無、演奏する時間帯、楽器の種類や演奏するジャンルなど、様々な要素を取り込んで検討することが不可欠となってきます。

## 【注記】

- 各音響性能における数値表示は外部要因や音響仕様によって異なります。
- 詳しい用途・使い勝手・予算・納期などにつきましては担当者にご相談ください。
- 本製品は品質の改良などで予告なく仕様を変更することがありますのでご了承ください。
- 『Acoustic Grove System』は特許・意匠・商標登録済みです。

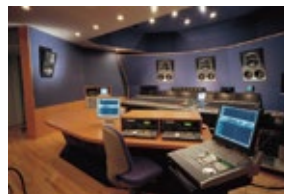
## 【当社の設計・施工した各ジャンルの施工例】



レコーディングスタジオ



FM ステーション



テレビ局音声編集室



無響実験室



NIHON ONKYO  
ENGINEERING

## 日本音響エンジニアリング株式会社

(本社) 〒130-0021 東京都墨田区緑 1-21-10 音空間事業本部 TEL. 03-3634-3525 FAX. 03-3634-5735  
 (名古屋営業所) 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦 2-9-14 TEL. 052-602-4682 FAX. 052-602-4683  
 (大阪営業所) 〒591-8002 大阪府堺市北区北花田町 3-42-1 TEL. 072-230-4161 FAX. 072-256-6812  
 (福岡営業所) 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 3-10-11 TEL. 092-791-9651 FAX. 092-791-9652

www.noe.co.jp

**HIBINO**

hibino group